

過去に開催した縄文文化大学講座

●令和6年度（2024年度）

演題：「縄文時代の植物利用—新たに開いた植物考古学の扉—」

講師：第24回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 佐々木由香さん

開催日：令和6年（2024年）11月16日（土曜日）



●令和5年度（2023年度）

演題：「北の縄文遺跡と土屋根竪穴について—岩手県御所野遺跡—」

講師：第23回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 高田和徳さん

開催日：令和5年（2023年）11月12日（日曜日）



●令和4年度（2022年度）

演題：「縄文農耕論の再検討 九州縄文後晩期の事例から」

講師：第22回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 福永将大さん

開催日：令和4年（2022年）10月8日（土曜日）



●令和3年度（2021年度）

演題：「環状列石研究の現状と課題」

講師：第21回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 阿部昭典さん

開催日：令和3年（2021年）10月9日（土曜日）



●令和2年度（2020年度）

演題：「石皿・すり石はどう使ったかー縄文の食料加工研究最前線ー」

講師：第20回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 上條信彦さん

開催日：令和2年（2020年）11月22日（土曜日）



●令和元年度（2019年度）

演題：「縄文時代の食を探る」

講師：第19回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 西野雅人さん

開催日：令和元年（2019年）12月7日（土曜日）



●平成 30 年度（2018 年度）

演題：「西日本の縄文文化」

講師：第 18 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 矢野健一さん

開催日：平成 30 年（2018 年）10 月 6 日（土曜日）

西日本の縄文文化

2018年10月6日（土） 尖石縄文考古館
矢野健一



●平成 29 年度（2017 年度）

演題：「星降る峠に黒曜石を求めて 縄文時代黒曜石鉱山の調査から」

講師：第 17 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 大竹幸恵さん

開催日：平成 29 年（2017 年）10 月 7 日（土曜日）



●平成 28 年度（2016 年度）

演題：「縄文社会を読み解く視点 土器文様・技術と胎土から」

講師：第 16 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 水沢教子さん

開催日：平成 28 年（2016 年）11 月 3 日（木曜日）



●平成 27 年度（2015 年度）

演題：土偶とは何か 隠されたその正体を探る

講師：第 15 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 瀬口眞司さん

開催日：平成 27 年(2015 年)10 月 10 日(土曜日)



●平成 26 年度（2014 年度）

演題：縄文石器の研究方法

講師：第 14 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 大工原 豊さん

開催日：平成 26 年(2014 年)10 月 11 日(土曜日)



●平成 25 年度（2013 年度）

演題：山形県最上川水系の縄文集落について

講師：第 13 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 小林圭一さん

開催日：平成 25 年(2013 年)10 月 12 日(土曜日)



●平成 24 年度（2012 年度）

演題: 土器文様から読み取る縄文社会

講師: 第 12 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 今福利恵(りけい)さん

開催日: 平成 24 年(2012 年)10 月 6 日(土曜日)

2012 年 10 月 6 日

土器文様から読み取る縄文社会

平成 24 年度縄文文化大学講座

今福利恵

L^AT_EX 2_ε jsarticle



●平成 23 年度（2011 年度）

演題: 先史時代の村をめぐる考古学 尖石遺跡からスカーラー・ブレイヤー遺跡へ

講師: 第 11 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 サイモン・ケイナーさん

開催日: 平成 23 年(2011 年)10 月 8 日(土曜日)



先史時代の村をめぐる考古学
尖石遺跡からスカーラー・ブレイヤー遺跡へ

The archaeology of the prehistoric village

Simon Kaner



●平成 22 年度（2010 年度）

演題: 炉のはなし

講師: 第 10 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 三上徹也さん

開催日: 平成 22 年(2010 年)10 月 9 日(土曜日)



●平成 21 年度（2009 年度）

演題：縄文のおわりと弥生のはじまり

講師：第 9 回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞受賞者 山崎純男さん

開催日：平成 21 年（2009 年）10 月 10 日（土曜日）

なお、平成 21 年度の縄文文化大学講座は、同年度の縄文ゼミナール第 5 回を兼ねて開催しました。

●平成 20 年度（2008 年度）

演題：縄文装身具の世界

講師：第 8 回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞受賞者 藤田富士夫さん

開催日：平成 20 年（2008 年）10 月 11 日（土曜日）

茅野市 5000 年 尖石縄文まつり 縄文文化大学講座

縄文装身具の世界

講 師 藤田 富士夫 氏
(富山市教育委員会理事・埋蔵文化財センター所長・
第 8 回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞受賞者)

(講演要旨)

『縄文人はオシャレの達人であった。今から約 7000 年前～5500 年前には「玢状耳飾り」と呼ばれる装身具が大流行した。それは中国東北部に起源し、そこから広く東アジア世界へと伝わった。また 5500 年前～4000 年前には翡翠で作られた「硬玉製大珠」が流行した。加工には高度な技術が必要であった。その分布は全国に及んでいる。茅野市の遺跡からも多くの翡翠が出土している。講座では、このような縄文装身具の様々を紹介するとともに、その意義を考えたい。』 (藤田富士夫氏より)

日時 10月11日(土)
午後1時30分～午後3時
場 所 尖石縄文考古館
ガイダンスルーム
定 員 80名
受講料 無料
その他 申し込み不要

お問い合わせ 茅野市尖石縄文考古館
〒391-0213
茅野市豊平4734-132
電 話 0266-76-2270

●平成 19 年度（2007 年度）

演題 尖石遺跡 尖石集落観はどう変わったか

講師：第 2 回宮坂英弑記念尖石縄文文化賞受賞者 勅使河原彰さん、茅野市教育委員会 小林深志

開催日：平成 19 年（2007 年）10 月 6 日（土曜日）

平成19年度 縄文文化大学講座

尖石遺跡

－尖石集落観はどう変わったか－

1. 宮坂英弑氏の尖石集落観
2. 尖石遺跡試掘調査の成果
3. 尖石集落の時代背景
4. 尖石遺跡における縄文集落観の到達点と今後の課題

●平成 18 年度（2006 年度）

演題：縄文時代後期の社会変化

講師：第 6 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 谷口康浩さん

開催日：平成 18 年（2006 年）10 月 7 日（土曜日）

尖石縄文考古館 縄文文化大学講座
2006.10.07

縄文時代後期の社会変化

谷口康浩

●平成 17 年度（2005 年度）

演題：縄文時代の葬送儀礼—縄文中期以降の土偶を伴う葬送儀礼—

講師：土肥孝さん（文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官）【当時】

開催日：平成 17 年（2005 年）10 月 8 日（土曜日）

●平成 16 年度（2004 年度）

演題：縄文王国の舞台 ハケ岳山麓の縄文文化研究の現状と課題

講師：第 2 回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞受賞者 勅使河原彰さん

開催日：平成 16 年（2004 年）10 月 9 日（土曜日）

●平成 15 年度（2003 年度）

（1）

演題：ヒスイの魅力

講師：武藤雄六さん（前井戸尻考古館長）

（2）

演題：縄文時代の「交易」—黒曜石の採掘と流通—

講師：宮坂清さん（下諏訪町教育委員会）

開催日：平成 16 年（2004 年）10 月 11 日（土曜日）

●平成 14 年度（2002 年度）

座談会：尖石昔語り

パネリスト：戸沢充則さん（尖石縄文考古館名誉館長【当時】）、宮坂昭久さん、林賢さん

小平恭さん（前尖石考古館長）、伊藤節夫さん

進行：鵜飼幸雄（尖石縄文考古館長【当時】）

開催日：平成 16 年（2004 年）10 月 11 日（土曜日）